

図表5-2-23 ▶ APN IOWN1.0 提供サービス概要

区分	品目	UNI		インターフェース	提供イメージ
		帯域	ポート		
タイプ1	100Gbps	100Gbps	1	OTU4	<p>UNIは1ポートで提供 (例1) 品目 100Gbps : UNI 1ポート</p>

【提供料金：1契約あたり（税込）】			【工事費等（税込）】		
区分	品目	月額料金	項目		料金
タイプ1	100Gbps	1,980,000円	契約料		880円
			基本工事費	基本額	4,950円
				加算額	3,850円
			交換機等工事費	アクセス回線ごと	1,100円
				サービス回線ごと	1,100円
			回線終端装置工事費		29,590円

・ NTT東日本/NTT西日本が設計するルートの収容ビル間距離が35kmを超える場合は、35kmまでごとに提供料金を適用
 ・ 本サービスの基本契約期間は1年間です。1年以内の解約または変更によりご利用料金に減少が生じた場合には残余期間のご利用料金を一括してお支払いいただきます
 ・ 実際の工事費の額は、工事内容により変動する場合がございますので、詳細は営業担当者までお問い合わせください
 ・ 基本工事費の加算額は、1工事あたりの回線終端装置工事費の合計が31,900円を超える場合、31,900円毎に加算

出所：NTT 西日本「APN IOWN1.0の提供開始について」（2023年3月2日）

図表5-2-24 ▶ APN IOWN1.0 提供イメージ



出所：NTT 西日本「APN IOWN1.0の提供開始について」（2023年3月2日）

を積極的に推進している。特に2024年1月には、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業」に採択され、ポスト5G、ひいては6G時代を見据えた取り組みを本格化させた。

このプロジェクトでは、IOWN技術の基盤となる以下の研究開発が進められている。

- ・ 光チップレット実装技術（NTTイノベティブデバイス、古河電気工業と共同）
- ・ 光電融合インターフェースメモリモジュール技術（キオクシアとの連携）
- ・ 確定遅延コンピューティング基盤技術（NECや富士通との協力）

また、NTTはNICT（情報通信研究機構）が推進する

「Beyond 5G研究開発促進事業」及び「革新的情報通信技術（Beyond 5G（6G））基金事業」にも参画し、以下のような研究テーマに取り組んでいる。

- ・ 帯域拡張光ノード技術（超高速・大容量通信を実現）
- ・ 波長変換・フォーマット変換技術（異種ネットワーク間の相互接続効率を向上）
- ・ 超低消費電力ネットワーク技術（カーボンニュートラル社会の実現に貢献）

IOWN構想では、政府の半導体・デジタル産業戦略とも連動しつつ、光電融合技術やAPNを核とした次世代通信基盤の構築を進めており、今後Beyond 5G（6G）技術のグローバル標準化にも寄与することをめざしている。